

手のひらの自然

京菓子

Kyogashi Exhibition

“Palm-sized Nature - The Tale of Genji”

「源氏物語」デザイン公募展 2018

「源氏物語」をテーマに幅広く公募した京菓子作品の中から、選りすぐりの約50点を展示します。
会場では、呈茶のために選ばれた作品を抹茶とともに召し上がっていただけます。

主催：公益財団法人有斐斎弘道館

京都市文化財公開施設運営管理事業受託コンソーシアム

共催：京都市、公益社団法人京都市観光協会、古典の日推進委員会

後援：京都府

協力：文化庁 地域文化創生本部

デザイン協力：G K 京都



京の菓子文化は2017年に「京都をつなぐ無形文化遺産」に選ばれました。



2018年 10月21日(日) ▶ 11月4日(日)

本会場 有斐斎 弘道館 (ゆうひさい こうどうかん)

時 間：10:00～17:00 (10月21日(日)のみ 10:00～16:00)

※最終入館は閉館の30分前

入館料：500円

呈 茶：1,000円 (数量限定)

期間中、本会場では京菓子職人が展示作品のご説明をいたします。

時 間：13:30～15:30 ※本会場のみ、水曜日を除く毎日、予約不要

※掲載の写真は今回の展示作品ではありません。

写真／「京菓子と琳派」(淡交社)より転載、背景／源氏絵巻帖 巻45 橘姫 宇治市源氏物語ミュージアム蔵

特別会場 重要文化財 旧三井家下鴨別邸

時 間：9:00～17:00 (休館日：毎週水曜日) ※最終入館は 16:30

入館料：大人 410円 / 中高生 300円 / 小学生 200円

呈 茶：1,000円 (数量限定)

特別茶会 2018年10月27日(土) 旧三井家下鴨別邸 茶室

時 間：10:00 / 10:45 / 11:30 / 13:00 / 13:45 / 14:30

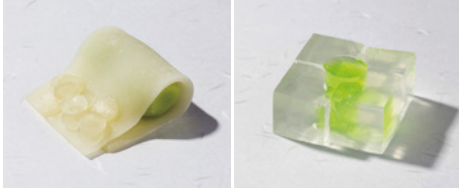
各時間に特別茶会を実施いたします。

参加費：2,000円 ※旧三井家下鴨別邸への入場料が別途必要

申込先：E-mail kyogashi@kodo-kan.com / TEL 075-441-6662 (有斐斎弘道館)

「京菓子」とは

「京菓子」は、朝廷文化である有職や茶道文化の上に成立する世界でも稀にみる芸術的な食べ物です。手のひらにのる小さな世界で、茶会のテーマに沿った四季折々の豊かな自然の情景が表現され、日本の伝統文化を表す重要なエッセンスがすべて「匠の技」の結晶である〈50グラムの立体造形〉に込められています。本展覧会は古典文学を通じて、京菓子について知り理解を深めていただくこととするものです。新たな京菓子が誕生する、その瞬間を体感できる、他では味わえない「場」となることでしょう。



左/
小林優子『想ひ袖』
2017年茶席菓子実作部門
大賞作品
右/
古島一行『清流(せいらゆう)』
2017年京菓子デザイン部門
大賞作品



源氏物語について

源氏物語は、平安時代中期に紫式部によって書かれた長編小説です。主人公である光源氏を通して、平安貴族社会の様子が描かれています。その世界のイメージは一千年の時を超えて今なお現代に生きる私たちのさまざまな文化に影響を与え続けています。茶席においても、古典文学は大きな役割を果たして来ましたが、数ある伝統文化の中でも特に人々に愛され読み継がれてきた源氏物語の世界について、京菓子を通じて改めて考えていただく機会になればと思います。



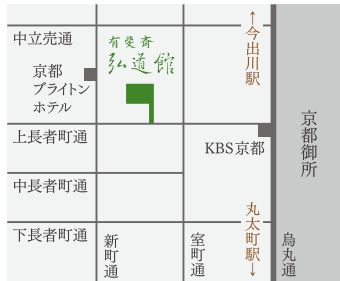
源氏絵鑑帖 巻45 橋姫 宇治市源氏物語ミュージアム蔵

手のひらの自然 京菓子「源氏物語」デザイン公募展 2018 会場アクセス

有斐齋 弘道館 (ゆうひさい こうどうかん)

〒602-8006 京都市上京区上長者町通新町東入元土御門町 524-1

【お問合せ先】TEL:075-441-6662 E-mail:info@kodo-kan.com



- 地下鉄「丸太町」駅または「今出川」駅から徒歩8分
- 烏丸通から上長者町通 (KBS京都の北東角) を西に入り、一筋目を越えて北側
- 京都駅からタクシーで15分
- 京都ブライトンホテルからホテル正面から南へ、一筋目を東に入る、北側

旧三井家下鴨別邸

〒606-0801 京都市左京区下鴨宮河町 58-2

【お問合せ先】TEL:075-366-4321 FAX:075-708-8321



- 市バス1・37・205系統「葵橋西詰」下車、徒歩約5分
- 市バス1・3・4・17・201・203・102系統「出町柳駅前」下車、徒歩約5分
- 京阪電車・叡山電鉄「出町柳」駅下車、徒歩約5分

有斐齋 弘道館 (ゆうひさい こうどうかん)

有斐齋弘道館は、江戸時代を代表する儒者・皆川淇園 (みながわきえん/1734～1807) の学問所「弘道館」址に建つ文化的建造物を保存しながら、江戸時代の教養文化を楽しみながら考え、広めていくための活動を行っています。公募展を通して、当時の文化サロンの豊かなネットワークに思いを馳せていただけましたら幸いです。

弘道館は有志によって運営されている公益財団法人です。その景観や文化を守るために寄付を受けています。詳しくはWebサイトをご覧ください。



有斐齋弘道館 11月開催のイベント

- 11月10日(土) 講座「信仰からみる京都」
- 11月15日(木) 勉強会「九条武子の会」
- 11月23日(金・祝) 特別催し「帯を知る 帯を楽しむ」

上記のイベント以外にも、様々な講座や茶会・催しを開催しております。各イベントの詳細や申込方法などは、有斐齋弘道館のWebサイトをご覧ください。

【Webサイト】<http://kodo-kan.com/>

